

ふもと 織姫山の麓から

法玄寺報
第38号
令和元年秋

台風の被災者へのお見舞い

●管理料と護持会費を無料にします

10月12日の夜に東海、関東、東北を襲った台風19号により各地は大きな被害を受けました。足利でも、東部地域を流れる袋川、尾名川、旗川が氾濫して多数の住宅が浸水し、死者まででました。足利でこのような大規模な水害が発生したのは、70年以上も前の昭和22年のキャサリン台風以来です。

住宅以外でも、イチゴなどの農作物も大打撃を受けたほか、次週に点灯式を行う予定だったフラワーパークも冠水したほか、来月に収穫祭を控えたココファームでも崖崩れが起きるなど、経済的にも大きな損失を受けました。

被災した方々に衷心よりお見舞い申し上げます。また被災した方には、来年度のみ管理料と護持会費を無料にしたいと思っておりますので、当山までその旨をお知らせください。



山の墓地工事

山の墓地の一部は、予算不足のため前回の墓地整備事業では整備を行うことができませんでした。未整備の場所の側では、2年前の送り盆の翌日に大きなナラの木が倒れ、木を片付けた後も前の擁壁が崩れたままになっています。

今回の台風で、この場所が崩れないか気がかりでしたが、幸い豪雨に耐えました。しかし来年以降も台風の風雨やゲリラ豪雨が襲うことも考えられます。そこで今回、護持会費を使い整備を行うことにしました。来年のお彼岸明けに工事に着手して、6月中には終了する予定です。



工事対象の倒れた木の周囲

法玄寺の小冊子

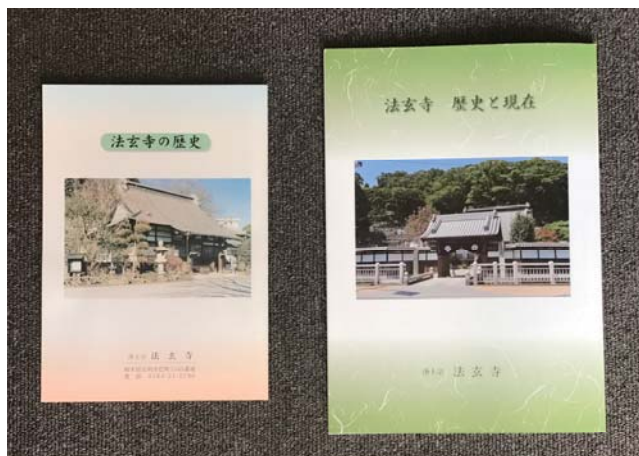


先代の良信上人が平成11年に作成した10頁の「法玄寺の歴史」という小冊子の残部が少なくなりました。出版からちょうど20年も経ち、令和の時代を迎えたので、この度「法玄寺 歴史と現在」という小冊子を作りました。版も一回り大きくするとともに、34頁と大幅に内容も充実させるとともに、巻頭4頁にはカラー写真を載せました。

新しい小冊子では歴史とともに、約十年前に行った山門・境内・墓地整備事業や、その後に行った永代供養墓の明照苑も述べています。また五木寛之先生、柳田邦夫先生などの講演会や毎月行っているヨガ教室、春秋に境内で行う野点、千灯供養や百万遍修行とその後に行われるコンサートも紹介しています。

今年の送り盆の際に施餓鬼卒塔婆とともに渡しました。まだお手元がない方はお知らせください。

なお、12頁10行目にミスがあり修正テープをは



新旧の法玄寺小冊子

りました。修正前に受け取られた方は、以下のように修正して下さい。

(誤) 平成二十三年(二〇一一年)
(正) 平成十四年(二〇〇二年)

足利氏ゆかりの会



10月23日と24日に全国足利氏ゆかりの会の全国大会が足利市で開催され、足利義兼の正室である北條時子姫の墓があることから住職も参加しました。23日、ニューミヤコ・ホテルで総会が行われ、引き続き国際日本文化研究センター名誉教授の今谷明先生により、「足利尊氏評価の歴史の変遷」という題で講演が行われ、多くの一般市民も聴講しました。24日は鑿阿寺において追善法要が行われました。



全国足利氏ゆかりの会、ニューミヤコ・ホテルでの講演会

千灯供養と百万遍修行&ハープとフルートの夕べ

10月5日（土）、恒例の千灯供養と百万遍修行が行われました。

千灯供養に先立ち、境内を300本のローソクでライトアップしました。千灯供養では、今回は参加された人たちの作る輪の中心にローソクを円状に灯して明るくしました。350本のローソクが

一切精霊祭壇やその前面の周囲に点灯されると秋の夜空が明るく映し込まれました。

その後、本堂に上がり百万遍修行が行われました。参加者は輪になって座り、大きな数珠を回して、先祖はもとより亡くなられたすべての方々の慰霊を行いました。今年はおトナムの尼僧さん



ハープを演奏する邊見さんとフルートを演奏する相場さん

も2名参加して国際色豊かになりました。

引き続き本堂で、ハープとフルートの夕べが開催されました。ハープ奏者は足利出身で芸大を卒業した邊見美帆子さん、フルート奏者は同じく足利出身の相場皓一さんでした。

クラシックの曲のほか、イギリス民謡や荒城の月などの日本の曲まで幅広く演奏し、参加者はハープとフルートの美しいハーモニーを楽しみました。演奏の途中、邊見さんと相場さんからそれぞれハープとフルートについて説明がありました。

なお、今回の行事は浄土宗ともいき財団の助成事業として認定され、10万円の助成を受けることができました。

桑子さんの後任に坂本政勝さん



9月、永年にわたり境内と墓地の清掃と整備をしていただいた桑子富夫さんが退職しました。桑子さんのおかげで墓地がいつもきれいに保たれ、檀家の皆様も気持ちよくお墓参りできたことと思います。

後任を捜した結果、坂本政勝さんをお願いすることになりました。坂本さんも真面目な方で、桑子さん同様よく境内や墓地の清掃をしてくれます。

皆様、お墓参りの時に見かけると思いますが、よろしくお願ひします。

野点と落語を楽しむ会



昨年引き続き今年も11月10日(日)の午後、境内で野点を行いました。幸い天気にも恵まれ、秋晴れのもと境内では華やかな野点傘を立て、野点を行いました。今年はイギリスやオーストラリアから来た女性も参加し、国際色豊かな野点になりました。

野点の後、本堂で獅子舞と落語を行いました。獅子舞を演じるのは岩崎雄一さん。獅子舞というと昔は正月につきものの行事でしたが、最近はめったに見る機会があ



獅子舞を舞う岩崎雄一さん



緋毛氈を敷いた高座で落語を話す立川キウイさん

りません。本堂の中を舞う獅子の姿に参加者は大いに湧きました。

引き続き、緋毛氈の上に紫の座布団を置いた見た目もきれいな高座で立川キウイさんの落語がありました。キウイさんは相田みつをさんのファンで、以前当山に来た時に、相田みつをさんのお墓参りをしました。今回の落語でも、相田みつをさんの「その時の出逢いが その人の人生を根底から変えることがある よき出逢いを」という詩を紹介して、この詩を地で行くような人情噺をしました。さすが真打、参加者一同は噺に聞き入り、笑いと感動に包まれていました。

ペット供養墓



今年1月の役員会で、ペット供養墓について話し合った結果、造る方向で話が進みました。そこで、ペット供養墓を設けている近くのお寺を参考のために見学に行きました。またペット供養墓を造ったことのある石屋さんを通して、情報を入手して、どのようなペット供養墓を造るか考えています。ご要望がある方はお知らせください。

またペット供養墓の大きさや造る場所についても検討しています。それほど大きな墓でなく、周囲の墓からは離すようにしたいと思っております。